

南高梅 産地一丸で 全国へ出荷！

紀州地域本部
NEWS&TOPICS

5月下旬から7月上旬にかけて生産量日本一を誇る南高梅の収穫が行われ、関東、関西を中心に全国の市場へ青梅を出荷しました。

今年は深刻な雹被害を受け、傷果が多かったことから昨年に続き「良品」の出荷規格を設けました。さらに、厳しい状況を踏まえ、JAとして出荷に対しての助成金制度の導入を実施することで生産者の農業所得向上に繋がられるよう対策をとりました。また、部会では市場やスーパーの担当者を産地に招待し、産地の被害状況に理解を深めていただけるよう力を注ぐなど、生産者、市場、JAが一丸となり、これからも産地を守っていけるよう努めています。



6/6 梅の日に合わせ各地でイベント！

JAや行政などでつくる「紀州梅の会」は6月6日を「梅の日」と制定しており、毎年地元や東京、京都にて記念式典を開催し、梅のPR活動に取り組んでいます。紀州地域本部は今年も京都加茂神社とみなべ町の須賀神社で神事を行い、梅産業のさらなる発展を祈願しました。

梅の日とは…

梅の日は、室町時代に五穀豊穡祈願として梅が京都加茂神社に献上されたという故事にちなんで2006年に制定されました。



須賀神社

紀州地域本部からは弓倉副本部長が出席しました。梅漬け神事などを行い産地の発展を祈願しました。



下鴨神社・上賀茂神社

紀州地域本部からは田中販売部長が参列し、青梅の奉納を行いました。参拝客に計1200個の梅干しを配布し、本場紀州の南高梅をPRしました。



日本一の産地へようこそ！ 梅もぎ体験ツアー

今年も梅生産者の皆様のご協力のもと、梅もぎ体験ツアーを実施しました。この取り組みは本場の南高梅に触れ、魅力を知っていただくことを目的としており、6月1日～18日にかけ、全国から約300人を受けいれました。九州からのツアー客やリピーターの方、地域の子どもたちなど様々な方にお越しいただきました。

ツアーでは南高梅の特徴や歴史、加工方法を説明した後、園地にて青梅をもぎ取って収穫していただきました。参加者は「いい香りがする!」、「帰って梅ジュースにするのが楽しみ!」などと大満足の様子でした。

各地で小玉スイカのトップセールスを実施!

名古屋、大阪



5月23日に名古屋青果、24日に大阪中央青果で開催し、スイカ部会役員、印南町の日裏町長、JA関係者らが参加しました。両日ともたくさんの人が集まり、仲卸業者やスーパー関係者らに小玉スイカを振る舞って美味しさをPRしました。また、阪神百貨店とコープこうべシア店でも消費者に向けて試食販売を行い、大盛況となりました。



東京



青年部もPR!!

6月1日には、青年部員がコープ岸和田にて消費宣伝を実施しました。今年は雨や低温が続き栽培面で苦勞しましたが、今年も糖度がのって美味しいことをPRしながら試食販売を実施し、通常販売を大きく上回る売り上げとなり大盛況となりました。



御坊市・印南町と連携し、PRポスターを作製!



優績LA表彰 紀州地域は7人が受賞

大川LA
全国表彰通算6回達成!

JA共済連より令和6年度に優秀な成績を収めたLA（ライフアドバイザー）が発表され、紀州地域本部からはLA 7人と優績チームとして美浜支店が選出されました。5月26日には地域本部にて表彰式を行い、椎崎副本部長から「表彰されたLAの皆様、本当におめでとうございます。これからも組合員・利用者に『安心と満足』を提供できるよう、さらなるご活躍を期待しております」と挨拶がありました。



全国表彰	優績表彰	大川 康友【湯川支店】
県本部表彰	総合優績表彰	大川 康友【湯川支店】
	長期基盤 (重点施策)の部	中元 稔【美浜支店】
		柏木 啓希【美浜支店】
	自動車新規契約の部	畑垣 智美【梅の郷支店】
		中元 稔【美浜支店】
		古田英士朗【印南支店】
		下村 良平【龍神出張所】
	芝崎 健司【美浜支店】	
優績チーム県本部表彰	美浜支店	

※【 】内は令和6年度時点の配属先です

青年部による食農教育

名田・塩屋班は名田小学校の児童を対象に実施! クイズを通して楽しく作物を知ってもらった後、苗植えを行いました。



5/8 おばけカボチャ



6/6 サツマイモ

川辺班は今年4月に統合で誕生した川辺東小学校で実施! 約120人が参加し、子どもたちの活気で溢れていました。



6/20 枝豆定植

食農教育支援



JA共済は地域貢献活動の
一環としてこの活動を支援しています



夏野菜苗定植(5/14)
ゆらこども園 5歳児14人



さつまいも苗定植(5/19)
中津こども園 30人、
中津分校1年生 8人



さつまいも苗定植(5/26)
御坊幼稚園64人



バケツ稲 種まき(5/26)
美山小5、6年生9人



バケツ稲 種まき(5/28)
ひまわりこども園5歳児25人



さつまいも苗定植(5/28)
ひまわりこども園4歳児26人



夏野菜苗定植(5/29)
高城こども園5歳児5人



田植え(5/29)
塩屋小5年生16人



バケツ稲 種まき(5/30)
みやま保育園14人



田植え(6/4)
稲原中32人、稲原小10人



さつまいも苗定植(6/6)
稲原小3～6年生33人



さつまいも苗定植(6/12)
みやま保育園15人



バケツ稲 種まき(6/13)
ゆらこども園 5歳児15人

印南町特産の小玉スイカを見学(6/11)

印南小学校3年生25人



畑野集荷場とフレッシュマートを見学！
初めて見る出荷の風景に驚いている様子でした！

『ひとりじめ』の試食も
実施！
「お小遣いで買いたい！」
などと大好評！



ハウス見学ではたくさんの質問が飛び交いました！
熱心にメモを取っているのが印象的でした！

さわやか日高からのお知らせ

YURA'n[ゆらん]ジュース



ご贈答用に
ギフトボックスや
1ℓ瓶もご用意
しています。

随時販売中！

農園直送！数見農園より由良町の濃厚なみかんを使用したこだわり100%のジュースです。

あら川の桃

桃の産地、紀の里
の桃（白鳳、白桃、
川中島等）を全国
発送いたします。

今年も甘い桃を
お中元にいかがでしょうか。



7月上旬頃より
販売開始！

伝説・豆知識

管内各地域の知られざる伝説や役に立つ豆知識を紹介！

スイカの“種”知識

スイカは冷蔵庫でキンキンに冷やしてから食べたいという人が多いかもしれませんが、長時間冷やすと甘みが減少してしまいます。風通しの良い涼しい場所で保存し、冷やすときは食べる1時間ほど前に冷蔵庫へ入れるのがおすすめです。



また、多くの人が捨ててしまうスイカの種ですが、悪玉コレステロールを減少させる効果があるリノール酸が豊富で、炒めてから皮を剥くことで美味しく食べることができます。また、フライパンで煎った後、布などで包んで沸騰したお湯に入れることで、スイカの「ダシ」をとることができます。香ばしさとほんのりとした甘さが感じられますので、是非一度お試しください。

【取材】組合員課 古瀬 聖



うめ

梅園管理について

お礼肥

収穫前に礼肥を施用していない方は、樹勢回復と貯蔵養分蓄積のために、早めの施肥を心がけてください。肥料名や量については、各営農指導員にお問い合わせください。

病害虫防除

○7月上旬～中旬（梅収穫後）ウメ

シロカイガラムシ

アブロードフロアブル（100倍／7日）前まで（2回以内）又は

モベントフロアブル（200倍／7日）前まで／3回以内

*アブロードフロアブルは残効性が長いので、幼虫発生前に散布しても効果があります。

*農薬の散布は、朝の涼しい時間に散布しましょう。

○環紋葉枯病
夏の低温多雨の場合や谷間や通風の悪い園で発生しやすく、葉に灰褐色の輪紋状病斑が発生し、早期落葉をおこすので、発生初期にベル

フト水和剤（200倍／収穫30日前まで／3回以内）またはトップジンM水和剤（150倍／収穫21日前まで／3回以内）を散布してください。

○クビアカツヤカミキリ

クビアカツヤカミキリの成虫は、5月下旬頃から8月に発生しウメ・モモ・スモモ・サクラ等のバラ科作物を加害します。
産地を守るためには、早期発見・早期対策が重要ですので、収穫終了後に一人一人が自分の園地の確認を行い、怪しいフラス・幼虫・成虫を発見した場合は、営農指導員に必ずご連絡ください。

○モモヒメヨコバイ

ヨコバイは収穫終了後から発生し落葉時期までいます。葉を吸汁することで黄化し最終的に早期落葉します。これにより秋の貯蔵養分量が低下し、樹勢低下や次年度の開花・新芽伸長・果実肥大等に悪影響を及ぼす可能性があります。アクタラ顆粒水溶剤（200倍／収穫7日前まで／2回以内）又はモスピラン顆粒水溶剤（200倍／収穫前日まで／3回以内）を散布してください。

○ケムシ類

ウメを加害するケムシ類には、オビレハ、イラガ、モンクロシヤチホコ、アメリカシロヒトリなどがあります。葉を食害されると光合成ができず、翌年の生育に大きく影響します。若齢幼虫は集団で生活しています。幼虫の発生が見られたときは、分散する前にフェニックスフロアブル（400倍／収穫前日まで／2回以内）を散布してください。

アメリカシロヒトリ発生に注意!!
幼虫は梅の葉を食害し、樹勢低下や貯蔵養分蓄積低下が起きます。また、住宅等に入ってくる事もあります。爆発的に増加しますので、被害が軽いうちに早急に防除してください。



（初期）ハサミ等で切り取り、焼却する。

（中期以降）フェニックスフロアブル（400倍／収穫前日まで／2回以内）

干ばつ対策

梅は浅根性と言われ、細根の80％は地表面から20cmまでに分布しており、高温乾燥が続くと細根が枯れ樹勢の低下につながります。
乾燥する前に、敷き草、堆肥等で水分の蒸散を防ぎ、灌水のできるところは早めに灌水してください。

灌水は地温の低い朝方に実施してください。

☆収穫量の低下してきている園地への対策☆

梅を取り巻く環境が徐々に変化してきています（暖冬・小雨・不完全花・虫の甚発生等）。昨年度においてはその影響が大きく出たのか、近年類を見ない凶作でした。今後産地としてもこれらの変化に左右されないよう安定的な収穫を目指していく為に、物理的対策を検討していく必要があります。

①改植

老木園より若木園が安定して着果していますので、最終的に着果の少ない老木は改植を行ってください。

②交配樹植栽本数の確認・追加植栽指導としての推奨本数は10a当たり2割～3割程度です。しかし、園地内の交配樹枯死等の原因により、現状園内には交配樹が少ない園地も増えてきています。つきましては、植栽本数が少ないようなら高接ぎや交配樹の植栽本数を増やしてください。

③灌水

乾燥が続けば樹勢低下が懸念されます。1週間ごとに1樹当たり約100リットルの灌水を行うってください。

※これらを踏まえ次年度の栽培に向けて見直し・改善を実施してください。

果樹柑橘



●柑橘類の摘果

着果の多い樹は早い目に行い、反対に少ない樹は後期摘果を行ってください。あら摘果では①樹幹内部や下部の小玉果②病害虫被害果③傷果を優先的に摘果してください。ゆら早生については他品種より後期肥大が鈍いので早期に摘果を行ってください。早生みかんなどは後期重点摘果を実施するようにしてください。中晩相類については積極的に小玉果を摘果しましょう。

●灌水の実施

梅雨明け後は、適度な水分がないと着色遅れや小玉果等が発生しますので、灌水可能な園では灌水を実施してください。特に苗木や幼木園では積極的に灌水を実施してください。

●品質向上対策

北向き園・水転園など品質が上がりにくい園では品質向上対策としてフィガロン散布が有効です。ただし、樹勢が低下している園では散布しないでください。また、マルチ被覆は極早生では8月上旬ごろまでに、早生・中生では8月末頃までに敷設を行ってください。また、古いマルチでは水分が遮断できない場合があるため、できるだけ新しいマルチの被覆をお勧めします。

フィガロンの熟期促進と使用方法

品種	目的	使用時期	倍数	収穫前日数 / 使用回数
温州みかん	熟期促進	1回目 満開 50～90日後 (6月下旬～8月上旬)	3,000倍	14 / 2
		2回目 満開 70～110日後 (7月中旬～8月下旬)		

水稻



残り草 キシユウスズメノヒエ (よばい草等)

フリンチャーバスME液剤
1000ml / 10a (希釈水量70～100ℓ)
移植後15日ノビエ5葉期、但し、
収穫50日前まで / 2回以内
※使用上の注意

稲に飛散しても問題ないですが、基本的には雑草へ散布しましょう。展着剤は使用しないでください。

斑点米(カメムシ類)対策

近年カメムシ類の発生が多く、カメムシ類の吸汁加害による斑点米の発生が心配されます。圃場周辺の雑草の刈り取りや畦畔にも防除を行うなど、カメムシ類の対策に注意してください。

◎省力散布(豆つぶ剤・畔からの投げ込み散布による省力化)

防除次期	出穂前
病害虫	いもち病、紋枯病ウンカ類、
薬剤名	ワイドパンチ豆つぶ
希釈倍数	250g (10a当り)
回数	1回
収穫前日数	35日前まで

湛水状態を3日以上保ち、落水かけ流しはしないようにする。

追肥

エムコートなどの一発肥料は不要ですが、追肥の必要な元肥施肥圃場ではNK化成20kg程度を出穂の25日前と15日前の2回に分けて施用してください。



病害虫防除

令和7年産 水稻統一栽培歴を参考にしてください。

※コブノメイガ・イネネットムシ多発園では、ロムダンゾル(1000倍/収穫21日前まで / 2回以内)を散布してください。

◎ウンカ類対策

●発生密度を低下させるため、2回防除を心がけてください。

●ウンカ類の生息する株元に薬剤がかかるよう丁寧に散布してください。

●多発が予想される場合は、必ずスタークル(アルバリン)顆粒水溶液(3000倍/収穫7日前まで / 3回以内)又は、アプロードフロアブル(1000倍/収穫7日前まで / 4回以内)又はスタークル豆粒(10a当たり250～500g/収穫7日前まで / 3回以内)を散布し、防除に努めてください。

野菜



●施設ミニトマト(キャロルフ、アイコ)

①設備の修理

黄化葉巻病対策では、予防対策が最も重要です。ハウス開口部に被覆している防虫ネットは数年使用すると破損してきます。破れている部分が無いを確認し、破れている部分が確認された場合には必ず補修してください。

ださい。

また、加温機や施設内の機器類の点検や清掃など、栽培期間中に出来ない作業を計画的に実施しましょう。

②圃場準備

太陽熱土壌消毒終了後は、圃場の土壌水分が適度な状態で耕運作業等を行ってください。慌てて圃場準備を行ない土壌の状態が悪くなると、これから先1年間の栽培に悪影響を及ぼします。

③定植

定植初期の栽培管理は、その後1年間の生育に大きな影響を及ぼします。初期に多量灌水をしてしまうと草勢が暴れていますので注意してください。また、遮光ネットは日々の天候にあわせてできるだけ開閉しましょう。長期間かけ続けると軟弱徒長の生育となり、地上部(草)と地下部(根)のバランスが悪くなると共にその後の生育に悪影響を及ぼします。

④草勢調節

草勢調節には各節から発生する側枝を上手に利用してください。

⑤植え穴への処理

黄化葉巻対策として定植時に必ずプリッソソ粒剤オメガ(2g/株)またはベリマークSC(400株当り25ml)などを施用してください。

⑥台風対策

台風が接近してからでは時間が無く、対応出来ない場合が多々あります。台風接近の有無にかかわらず、病害予防とあわせ定植活着後 カスミ

ンボルドー 1000倍液を散布してください。

●露地ミニトマト

収穫が始まると草勢や着果量を確認し、追肥や灌水を実施し、草勢維持に努めてください。

また病害虫対策では、定期的に薬剤散布を実施し、予防対策に努めてください。

特に黄化葉巻病には注意し、発生を確認した場合には、速やかに適正に処理してください。

豆類

次作の準備の為、土壌消毒の徹底をしてください。特に立ち枯れ発生園では必ず実施してください。土壌消毒の方法については各営農指導員にお問い合わせください。

ナス

栽培面では過繁茂状態にならないよう内向枝、側枝を切り返し、ふところに薄日が差すように整理してください。乾燥状態は草勢の低下、奇形果、要素欠乏の原因となりますので水分管理には十分注意してください。追肥は草勢を見ながら15〜20日程度に1回行ってください。

病害虫についてはオオタバコガ、アザミウマ類、ヨトウムシ類、ダニ類の防除を徹底してください。

薬剤については、営農指導員にお問い合わせください。

ゴーヤ

●栽培管理

果実に日航がよく当たるよう古葉やツルの摘葉や摘心を行ってください。また、地際から出る側枝は適時除去してください。

草勢維持のため20日間隔で追肥を行ってください。なお、果実の肥大には水分が必要なため追肥に合わせ灌水も行ってください。

果実の鮮度を保つため、果実温度の低い時間帯に収穫するよう心がけてください。

病害虫が多発してからでは、防除が困難となりますので、予防を中心にこまめに行い、早朝か夕方など涼しい時間帯に行ってください。薬剤については、営農指導員にお問い合わせください。

●追肥例(10aあたり)

●千代田化成549(15-14-9)

1回あたり2袋

または

●NK化成2号(16-0-16)

1回あたり2袋

花き類全般



全般

●定植準備

土壌病害の発生を軽減させるため、定植予定の圃場では太陽熱消毒

や薬剤などによる土壌消毒を行ってください。土壌消毒終了後は地温を下げるため遮光ネットを張るなど対策を取り、定植には畝の底まで水が入っている状態になるよう十分に灌水を行ってください。

●定植

ポット苗・プラグ苗等の鉢土はピートモスが含まれているため、乾燥した状態で定植すると定植後の灌水を行っても培土が水をはじき土と鉢土間に隙間が出来、活着遅れとなりますので、どぶ漬け等を行い鉢土に水分を持たせ定植を行ってください。

定植から活着をスムーズにし、根をいかに多く深く張らせるかが今後の生育に大きく影響しますので、作物の状態や圃場の状況に合わせ灌水を行ってください

また、根痛みを避けるため、風ネットや遮光ネットを張り、定植時地温を下げる対策を行ってください。

●千両

開花が終わり、これから実腐れ病予防の大事な時期となりますので必ず薬剤防除を行ってください。梅雨明け後、乾燥状態になると実落ちが起こりやすくなるため乾燥に注意し、小屋内の温度上昇にも注意し換気を十分に行ってください。

病害虫では特にダニ類に注意し防除を行ってください。